

Press Release

2013年7月25日
メドピア株式会社

「標榜科目の変更」について 約9割は標榜科目を変えたことがない

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」(メドピア、<https://medpeer.jp/>) を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽 (医師)>は、会員医師を対象に「標榜科目の変更」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

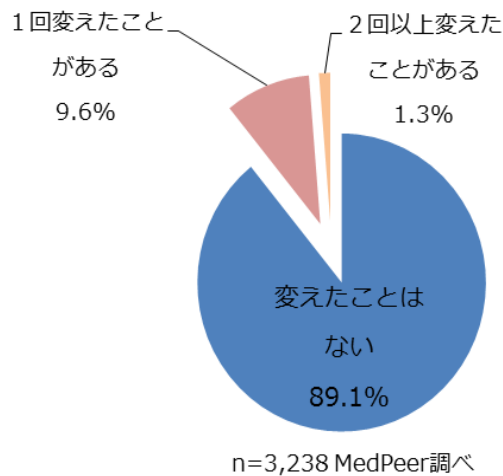
医師専門サイトMedPeer調査結果：「標榜科目を大きく変えたことはありますか？」(総回答：3,238人)

| 順位 | 回答 | 回答数 (人) | 占有率 |
|----|--------------|---------|--------|
| 1 | 変えたことはない | 2,887 | 89.1% |
| 2 | 1回変えたことがある | 310 | 9.6% |
| 3 | 2回以上変えたことがある | 41 | 1.3% |
| - | 合計 | 3,238 | 100.0% |

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer (メドピア) に登録する医師 (6万人以上) を対象に「**標榜科目を大きく変えたことはありますか?**」という質問をしたところ、**3,238**件の回答が寄せられた。
- 標榜科目を「変えたことはない」という回答が圧倒的に多く、全体の89.1%を占めた。「変える必要がなかった」「変えようと思ったことはない」というコメントと、「今更変えられない」「変える勇気がない」という声が相半ばする。「追加したが、変わっていない」「開業したら変えると思う」という意見もあった。
- 「1回変えたことがある」は9.6%。「外科から内科」という流れが目立つ。他にも、「外科から眼科」「麻酔科から脳外科」「小児科から神経内科」といった例がみられた。
- 「2回以上変えたことがある」はわずか1.3%。「時代の流れに対応すべく変えるようにしている」「医学は全身であり、1科目に集中すべきでない」という意見があった。

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「変えたことはない」 2,887件

- ・ 変える必要に迫られたことがありません。（40代、一般内科）
- ・ ありません。変えたいと思ったことはありますが、いまさら他のことはできないし。（40代、精神科）
- ・ 変更を考えた時期がありましたが、結局は変更していません。かなり勇気が必要と思われます。（50代、小児科）
- ・ 変えたこともないし、変えようと思ったこともありません。（50代、呼吸器内科）
- ・ 主標榜科目で十分カバーする範囲が広い（40代、神経内科）
- ・ 標榜を変えるとは、医師としての専門領域変更の意味合いがあるように思います。簡単には変えられないです。（50代、一般内科）
- ・ 開業時に、内科と小児科を追加しましたが、ずーっと産科婦人科です。（60代、産婦人科）
- ・ 他の分野の勉強を始めるのはかなりのエネルギーと時間を要するので。（40代、精神科）
- ・ 標榜科は変えていませんが、勤務先により仕事の内容は大きく変わりました。（60代、一般内科）
- ・ 変えてみたいと思ったことは何回もある。しかし、勇気がなかった。年取るほど、その勇気は小さくなる。ので、若い方、変えるなら早めに！！（40代、一般内科）

「1回変えたことがある」 310件

- ・ 外科から内科に変わりました（50代、一般内科）
- ・ 元々外科でしたが、手術のできない職場に変わり内科に変えました。（50代、一般内科）
- ・ 外科から病理に転職しました。（60代、病理）
- ・ 急性期病院の外科医から老健勤務となったので、内科にしました。（50代、一般外科）
- ・ 泌尿器科から一般内科に変わりました。（40代、一般内科）
- ・ 消化器内科から総合診療科に変更しました。（40代、総合診療）

- ・皮膚科から形成外科へ。皮膚外科においては共通しています。(30代、形成外科)
- ・心臓外科を35年間していましたが、体力的に深夜手術に耐えられなくなったため、循環器内科にかかりました。(50代、循環器内科)
- ・整形外科から救急集中治療にかえました。(40代、救急医療科)
- ・脳神経外科から精神科にかかりました。(30代、精神科)
- ・耳鼻科から精神科に転科しました。(30代、精神科)
- ・心臓外科から循環器内科へ。結構苦労しました。(40代、循環器内科)
- ・救急科から総合内科へ。救急の現場だけでは太刀打ちできないため。予防が必要と考えました。(40代、一般内科)

「2回以上変えたことがある」 41件

- ・医師免許取得後30年間の間に、最初麻酔科から始まり、老年内科→認知症精神科→全般的精神科へと転科していった。いずれも転科者を受け入れしやすい分野である。(50代、精神科)
- ・僻地医療がテーマでしたので、派遣先の都合で、標榜を代えたことが数回あります。(50代、消化器内科)
- ・時代の流れに対応すべく変えるようにしています(30代、一般内科)
- ・医学は全身であり、1科目に集中すべきでない。(30代、産婦人科)
- ・整形外科から麻酔科、今は精神科です。(30代、精神科)
- ・内科、精神科、リハビリテーション科と変えてます。(30代、リハビリテーション科)
- ・呼吸器内科から緩和医療科に変えてまた戻した。(30代、呼吸器内科)

・ ※調査方法

□期間：

2013年6月24日（月） ～ 2013年6月30日（日）

□有効回答：

3,238人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

大学医局を辞めて民間病院に転職する方も多いと思います。皆さまは、途中で標榜科目を大きく変えた経験はありますか？（臨床研修期間は除いてお考えください）

なお、ここで言う標榜科目を大きく変えたとは「外科系から内科系、産婦人科から眼科などの大きな変更」とします。以下の選択肢から当てはまるものをお選びいただき、その理由をコメントにご記入ください。

1. 変えたことはない
2. 1回変えたことがある
3. 2回以上変えたことがある

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・ 「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・ web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer（メドピア）とは - 2013年5月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL：<https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつけるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は6万人以上で、日本の医師の約4人に1人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約1,700の医療用医薬品に対して、24万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

